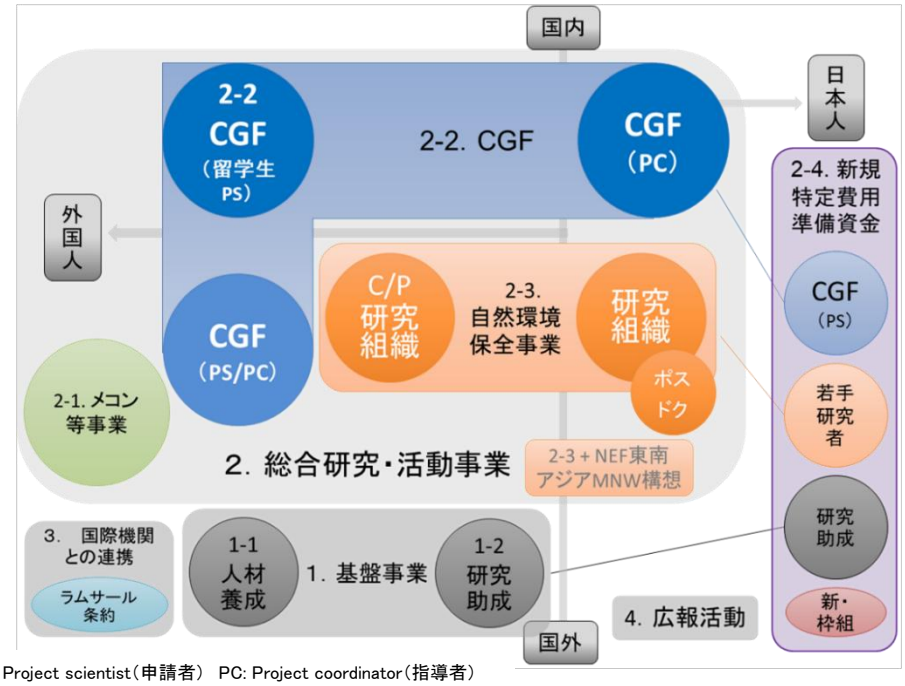
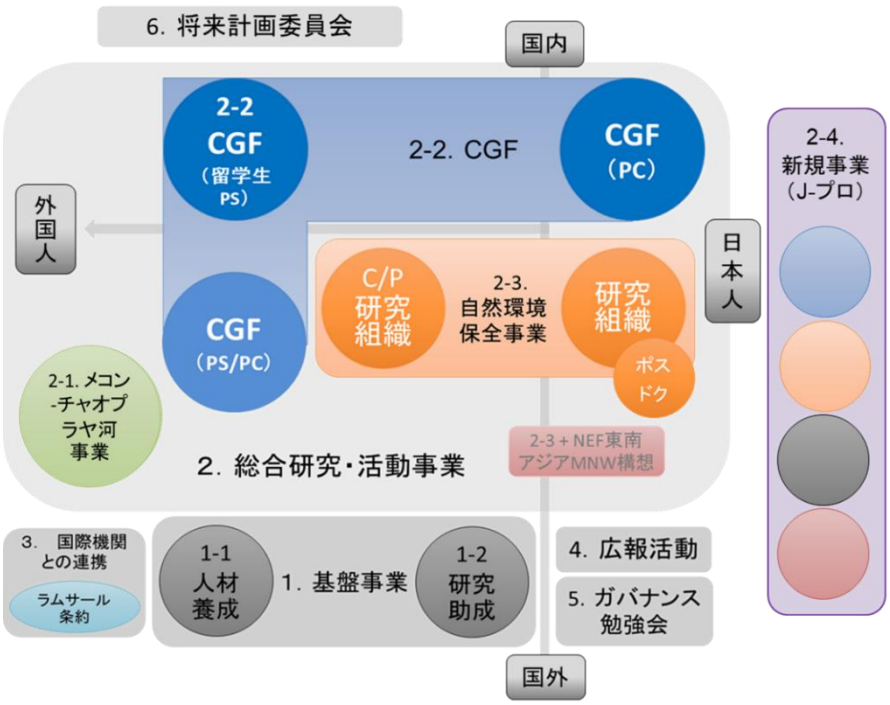
図表１

2024年度の事業計画（上の図）と2025年度の事業計画（下の図）



PS: Project scientist（申請者） PC: Project coordinator（指導者）
C/P: カウンターパート MNW: Museum net-work

この間の活動が、本事業報告



図表２

人材養成事業の実績

表1　2024年度の人材養成事業の対象国と受給者数など

国名	1人あたりの支給月額（円）		新規受給者数（名）		継続受給者（名）		合計（名）
			学部生	大学院生	学部生	大学院生	
ベトナム	大学院生	8,500		50		40	90
ラオス	学部生	4,000	50		80		130
	大学院生	7,000		2		4	6
カンボジア	学部生	4,000	52		84		136
合計（名）			102	52	164	44	362
			154		208		

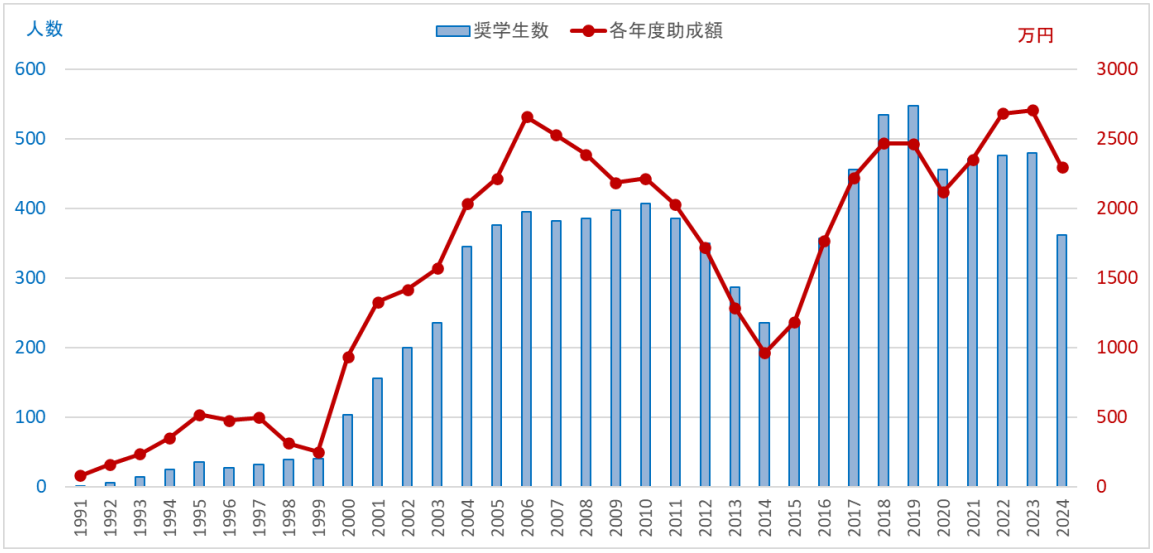


図1　人材養成事業の実績（奨学生数と助成金額）.

研究助成事業の実績

表１　2024年度の研究助成の審査数、採択数、採択率、助成金額

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
審査数	183	93	104	78	65	87	98	62
採択数	35	12	13	11	16(1)	19(1)	25	22
採択率	19.1	12.9	12.5	14.1	23.1	20.7	25.5	35.5
助成金額（万円）	1，084	1,650	587	606	690	947	1,212	1,694

採択数の（　）内は学術出版助成の内数を示す。

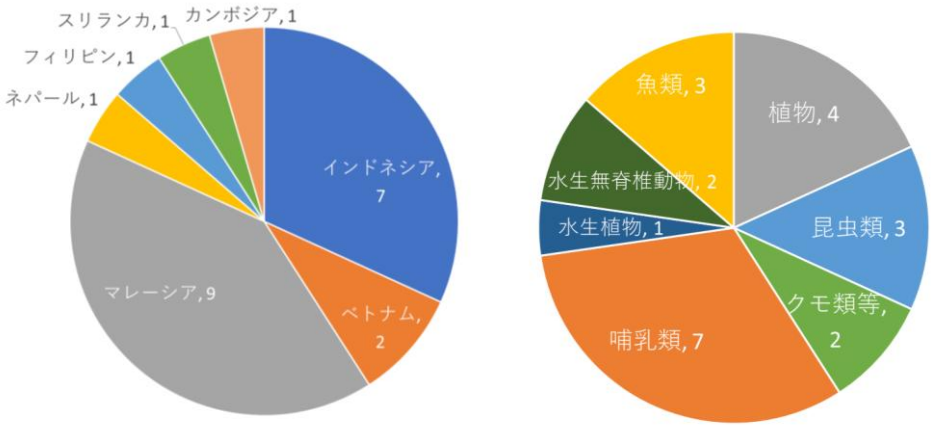


図１　2024年度の研究助成の採択国（左）と対象生物分類群（右）

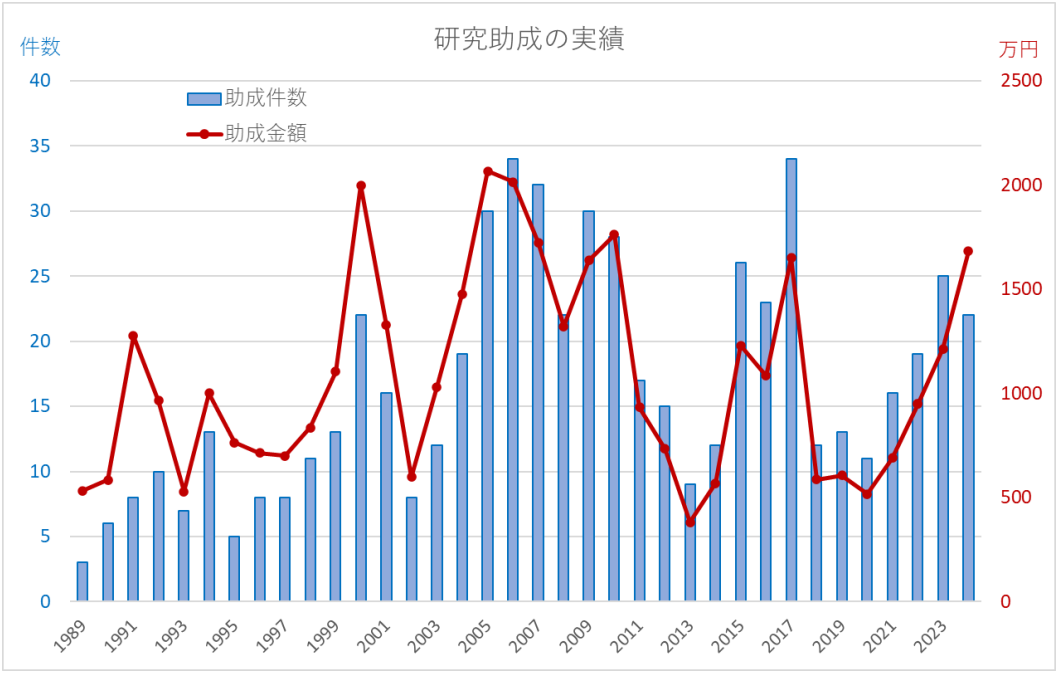


図２　研究助成の実績（助成件数と助成金額）

メコンーチャオプラヤ河流域事業のフォローアップ事業（報告書から抜粋）

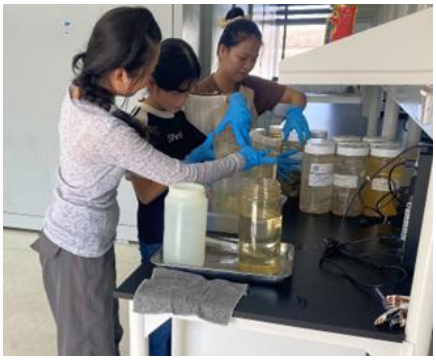


図1　購入したアルコールを充てん中（左）。右は整然と並べられた標本ビン。
（ベトナム　カントー大学）

図2　購入した標本樽
（タイ　ウボンラチャタニー大学）

図3　アルコールの充てん作業。
学生実習も兼ねている。
（ラオス　ラオス国立大学）

図4　購入したアルコールとフォルマリン
（タイ　メージョー大学）

図表５

若手研究者育成事業（CGFプログラム）の実績

表１　2016年度以降の応募数、審査数、採択数、助成金額

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
応募数	1	2	10	6	14	8	6	22 （10）	15 （6）
審査数	1	2	8	4	6	5	5	19 （9）	13 （5）
採択数	1	2	4	1	3	1	4	11 （6）	9 （5）
金額 （万円）	0	354	674	375	407	253	490	1,801	1,667

（　）内は留学生の内数を示す。

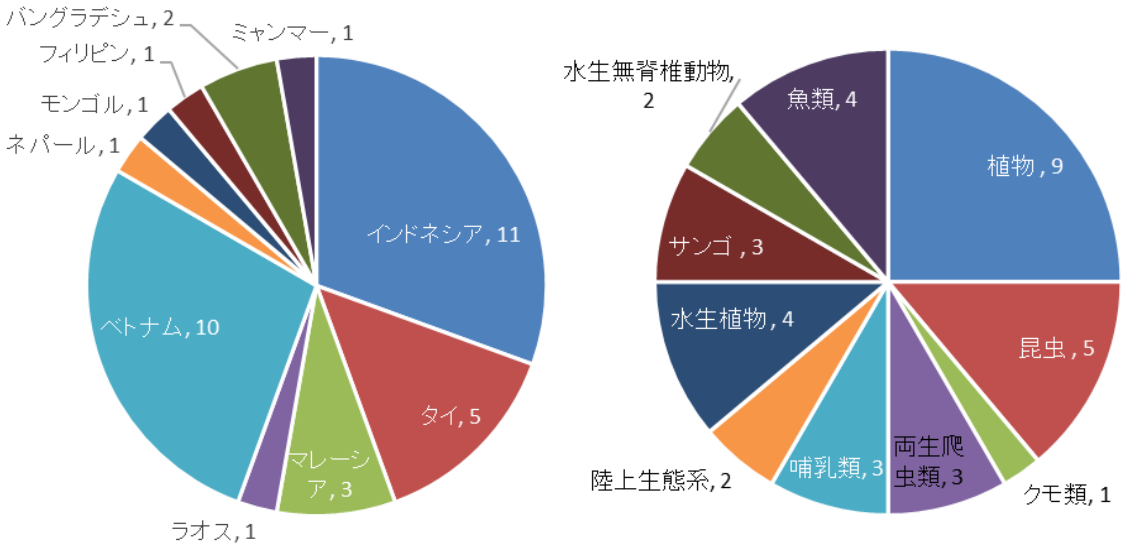


図１　2016年度以降の採択された研究の申請国（左）と対象生物（右）

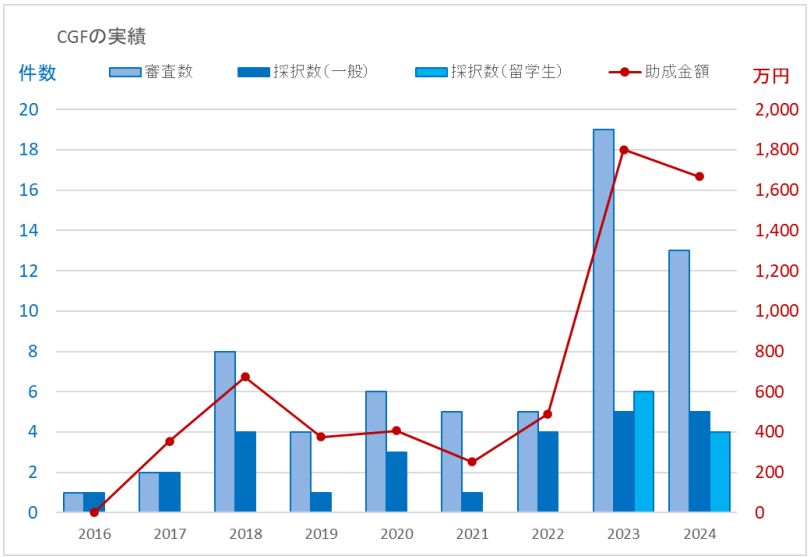


図２　2016年度以降の審査数、採択数（一般と留学生）、助成金額

2024年度の活動状況（田金プロジェクト）

図1　ベトナム調査　2024年12月10日

図2　ラオス調査　2025年3月5日

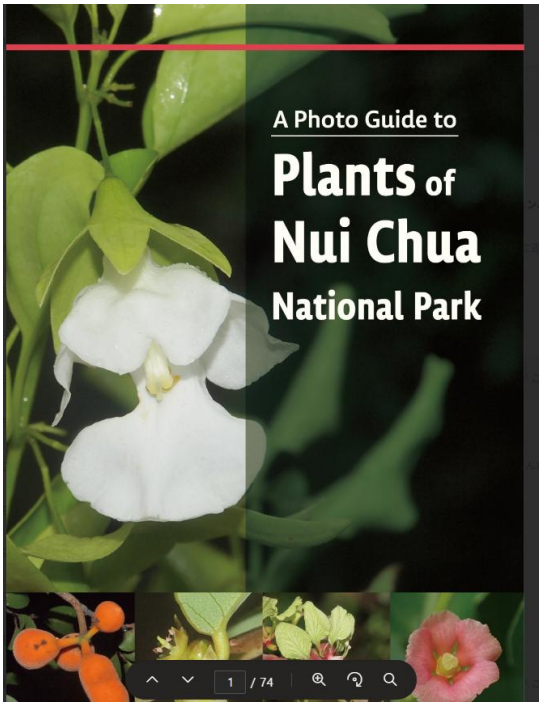


図3　研究成果の図鑑（2024年8月14日）

図4　魚眼レンズでとらえた森の様子
（ラオス調査にて）

図5　財団のホームページを飾った
現地調査で撮影された花々

2024年度の活動状況（本川プロジェクト）

図1　ラオスでの調査風景（2024年12月）

図2　本川チーム＠ベトナム（2024年10月）

図3　ラオス国立大学でのワークショップ（2025年3月）

図4　ハノイ科学大学でのセミナー（2025年3月）

図5　2024年8月に招聘した研究者のレポートから

図表８

2024年度の活動状況（鈴木プロジェクト）
（2025年3月の調査報告書から抜粋）

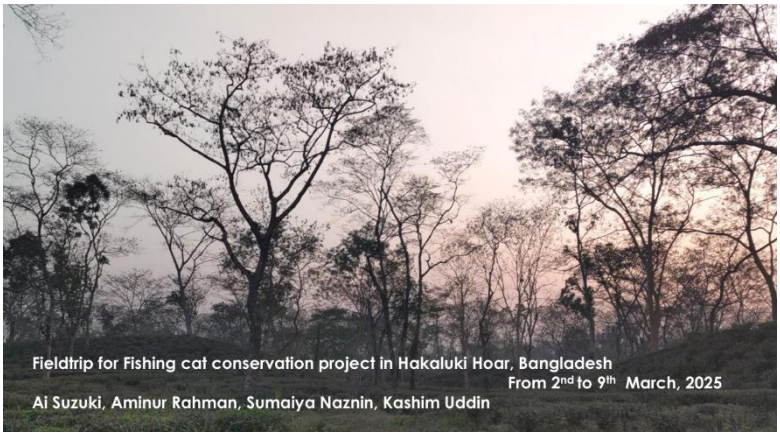


図1　調査地の風景

図2　カメラの設置と
ネコに扮した研究員

図3　農民へのインタビュー
調査の様子

図4　公立小学校での調査

図5　ラマダン明けのご馳走

図表９

2024年度の活動状況（前田プロジェクト）
（事前調査報告書から抜粋）

図1　使用されていないFish pond　（右：パラワン島のウェスタン・フィリピン大学にて）と
そこで見かけた*Pandaka pygmaea*（かつて世界最小の魚類といわれたハゼの仲間）の群れ（左）

図2　カガヤン大学でのレクチャー風景（左）と
仔稚魚調査の方法についての説明（右）

図3　カガヤン大学のFish pond（右）とトビハゼ（左）

図5　Cabayugan川（パラワン島）で
採集された魚類

図4　魚類採集チーム@カガヤン大学（右）と
台風でダメージを受けたFish pond（左）

図表１０

J-プロの考え方

図1　科研費に採択された「東南アジア＋自然」研究件数

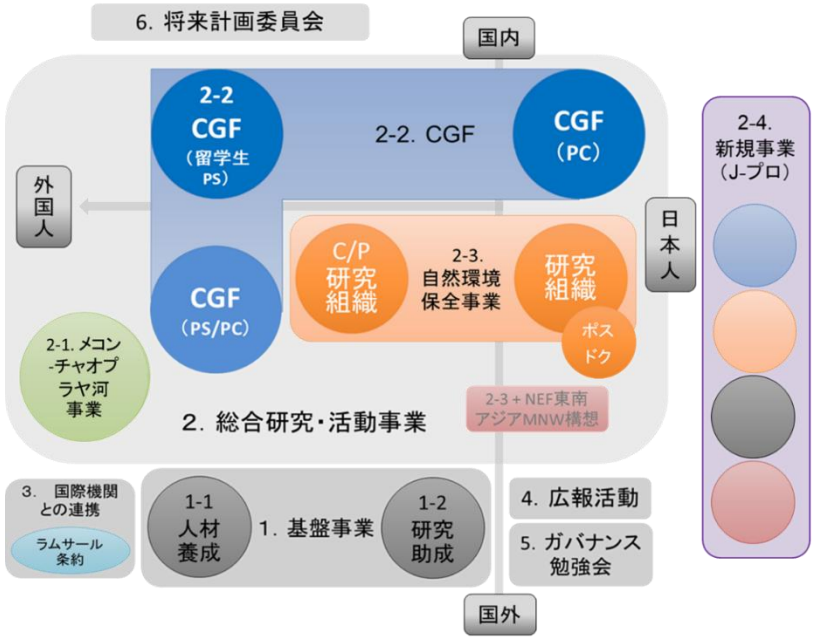


図2　2025年度の事業計画図

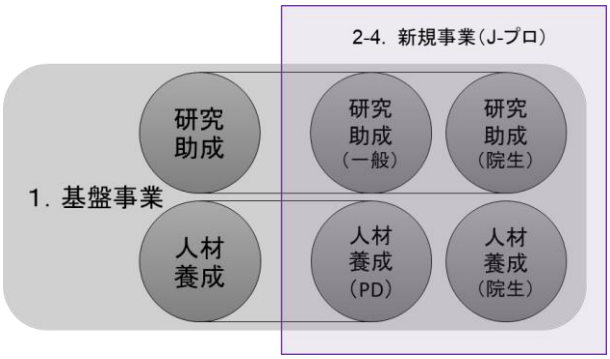


図3　新規事業であるJ-プロを基盤事業の一部と考える（既存事業の拡大）

図表１１

2024年度のホームページに関する情報

図1　HPの更新回数
（経年別）

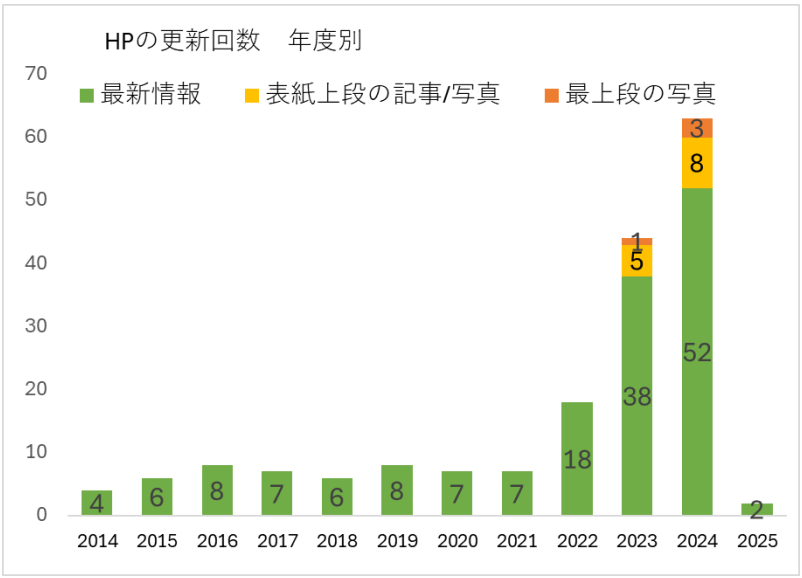


図2　HPの更新回数
（2024年度の月別）

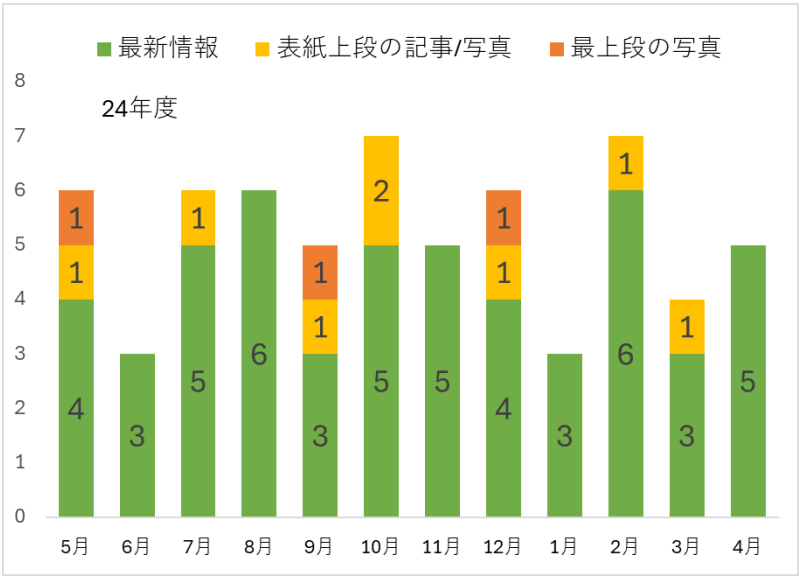
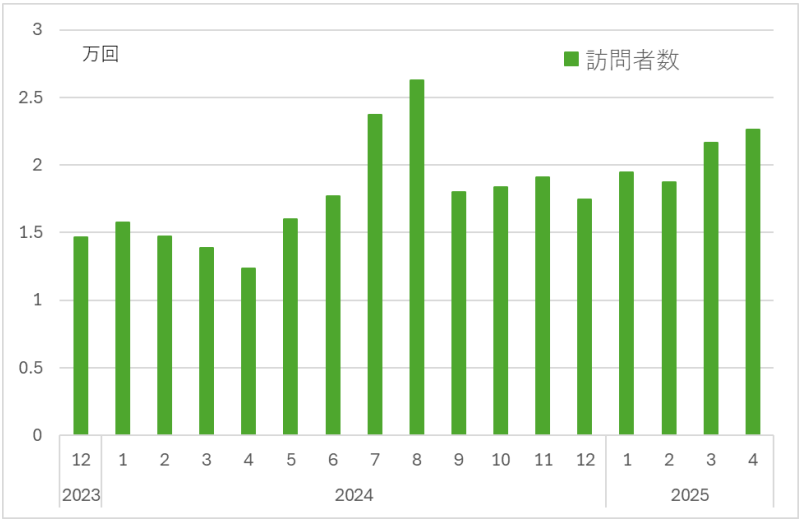


図3　財団HPへの
訪問者数



別紙１　2024 年度人材養成事業実績一覧（各国の状況）

各国の現地協力機関は、新規候補者への広報や選考、継続候補者の学業成績の確認、各学生への奨学金支払い等を実施している。以下に、各国の概要を報告する。

ベトナム（1993 年度開始）

ベトナム国立大学自然資源・環境中央研究所（Central Institute for Natural Resources and Environmental Studies: CRES）を現地協力機関とし、現地の大学院で学ぶ修士課程の大学院生に奨学金を支給する。

本年度は、新規採用の 50 名を含む合計 90 名に奨学金を支給した。奨学金支給期間が終了した 40 名全員が修士課程を修了し、その就職状況が報告された（次頁の表）。就職先の内訳は、初・中等学校 9 名、高等教育研究機関 22 名、行政機関 7 名、NGO/NPO1 名、民間企業 1 名であった。

ミャンマー（1998 年度開始）

森林資源環境開発保全協会（Forest Resource Environment Development & Conservation Association: FREDA）を現地協力機関とし、現地の対象大学 University of Forestry and Environmental Science, Yezin（5 年制）の学部生、同国内の大学院生に奨学金を支給する。

2021 年 2 月 1 日のミャンマー国軍のクーデターによる政権奪取以降、現地では混乱した状況が続いている。現地の状況が落ち着くまで、または学生への支払が可能になるまで、同国への奨学金支給を停止している。

ラオス（2004 年度開始）

ラオス国立大学（National University of Laos: NUOL）を現地協力機関とし、同大学で学ぶ学部 2 年生から 4 年生、大学院生に奨学金を支給する。

本年度は、新規採用の学部 2 年生 40 名、大学院生 2 名を含む合計 136 名に奨学金を支給した。奨学金支給期間が終了した学部生 40 名と修士課程の大学院生 4 名の全員が卒業し、うち 39 名の就職状況が報告された（次頁の表）。就職先の内訳は、初・中等教育機関 7 名、高等教育機関 2 名、行政機関 7 名、NGO 等団体 1 名、民間企業 15 名、自営業 1 名、進学・留学 2 名、インターン 4 名であった。

カンボジア（2011 年度開始）

カンボジアの王立農科大学（Royal University of Agriculture, Cambodia: RUA）を現地協力機関とし、現地の対象 3 大学で学ぶ学部 2 年生から 4 年生に奨学金を支給する。

本年度は新規採用の 2 年生 52 名を含む合計 136 名に奨学金を支給した。奨学金支給期間が終了した学部生のうち、21 名の卒業と 13 名の就職状況が報告された（次頁の表）。就職先の内訳は、初・中等教育 1 名、高等教育研究機関 4 名、行政機関 2 名）、民間企業 3 名、インターン 3 名であった。

バングラデシュ（2016 年度開始）

現地の対象 5 大学の代表で構成されるバングラデシュ NEF 委員会を現地協力機関とし、各大学で学ぶ学部 2 年生から 4 年生に奨学金を支給する。

2020 年に発生した新型コロナウイルス感染症の流行により、休校や進級試験の中止、大学入試

の延期などが生じ、現地の進学スケジュールに遅れが発生した。さらに、2024 年度には大規模な反政府運動が発生し、全国的に学校や大学が一時閉鎖される事態となった。現在、教育施設の閉鎖措置は解除されているが、進学スケジュールにおける約 1 年の遅れは依然として解消されていない。このような状況を踏まえ、2024 年度の支援を中止した。

表　2024 年度中に卒業した奨学生の就職先

	初・中等教育機関	高等教育研究機関	行政機関	NGO 等	民間企業	自営業	進学	その他	計　/卒業生数
ベトナム	9	22	7	1	1				40　/40
ラオス	7	2	7	1	15	1	2	4	39　/44
カンボジア	1	4	2		3			3	13　/21
バングラデシュ									確認中
ミャンマー									事業停止中

別紙２．2024 年度研究助成事業実績一覧

調査研究助成 22 件　助成額 16,819 千円

出身国	研究者名	所属先	研究課題（英文・仮和訳）	助成期間（月）	助成額（円）
マレーシア	Nur Athirah ABDULLAH	Universiti Malaysia Sabah	Distribution of spiders (Arachnida: Araneae) in Crocker Range Park, Sabah, Borneo across an elevational gradient サバ州クロッカー山脈公園におけるクモ（クモ綱：クモ目）の標高別分布	24	500,000
ベトナム	Long Duy PHAM	Vietnamese Academy of Forest Sciences	Assessing the impact of ecotourism, recreation, and entertainment on biodiversity and conservation of special-use forests in Vietnam: A case study utilizing ants (Hymenoptera: Formicidae) as bioindicators in Non-Nuoc Cao Bang UNESCO Global Geopark ベトナムにおいてエコツーリズム、保養、娯楽が特別利用林の生物多様性と保全に及ぼす影響の評価：ノンヌオック・カオバン・ユネスコ世界ジオパークにてアリ（ハチ目：アリ科）を環境指標生物として利用した事例研究	24	1,000,000
カンボジア	Samol CHHUOY	Royal University of Agriculture	Early life history of Boeseman croaker *Boesemania microlepis* (Bleeker, 1858) in Tonle Sap Lake ecosystem トンレサップ湖生態系における二ベ科魚類 *Boesemania microlepis*（Bleeker, 1858）の初期生活史	12	700,000
マレーシア	Aimi Syauzana SEDEK	Universiti Tun Hussein Onn Malaysia	Taxonomic revision and phylogenetic evaluation of the genus *Zingiber* Mill. (Zingiberaceae) based on comprehensive ITS and matK regions. ITS および matK 領域に基づくショウガ属（ショウガ科）の分類学的再検討と系統学的評価	18	999,000

別紙２

出身国	研究者名	所属先	研究課題（英文・仮和訳）	助成期間（月）	助成額（円）
インドネシア	Anang Setyo BUDI	National Research and Innovation Agency	Systematics of coprophagous hydrophilid beetles (Coleoptera: Hydrophilidae: Sphaeridiinae) associated with mammal excrement in Java, Indonesia インドネシア、ジャワ島において哺乳類の排泄物を摂食する食糞性ガムシ（コウチュウ目:ガムシ科:ハバビロガムシ亜科）の系統分類	23	1,000,000
インドネシア	Fitria Tisa OKTALIRA	National Research and Innovation Agency	Diversity and distribution of mycorrhizal fungi associated with widely distributed *Spathoglottis plicata*: improving Indonesian orchid conservation effort through the knowledge of orchid mycorrhizae 広く分布するコウトウシラン（*Spathoglottis plicata*）と共生する菌根菌の多様性と分布：ラン菌根の知識を通じたインドネシア産ランの保全の向上	18	954,000
インドネシア	Tri ARFIANTI	National Research and Innovation Agency	Exploring and describing marine benthic amphipod crustaceans of the Thousand Islands, Indonesia, an area with rapid environmental change. 急速な環境変化が進むインドネシアのセリブ諸島における海生底生端脚類の記載	11	235,000
インドネシア	Gunawan MUHAMMAD	National Research and Innovation Agency	Conservation and habitat distribution of endemic *Corbicula possoensis* and *Corbicula linduensis* in the ancient lakes of Poso and Lindu using eDNA approaches ポソ湖とリンドゥ湖固有のシジミ２種（*Corbicula possoensis*、*Corbicula linduensis*）の eDNA を用いた生息地分布	12	999,000

出身国	研究者名	所属先	研究課題（英文・仮和訳）	助成期間（月）	助成額（円）
インドネシア	Andi CHADIJAH	National Research and Innovation Agency	Biodiversity and resilience: the effects of invasive fish and land-based pollution on endemic ichthyofauna in ancient Lake Matano, South Sulawesi, Indonesia 生物多様性と回復力：南スラウェシ州のマタノ湖における侵入魚類と陸上からもたらされる汚染が固有の魚類相に与える影響	12	1,000,000
インドネシア	Indra FARDHANI	Universitas Negeri Malang	Projecting the potential distribution and analyzing the bioclimatic factors of four understudied Rhododendron species in Lake Habema, Papua, Indonesia インドネシア、山岳パプア州のハベマ湖におけるシャクナゲ類４種の潜在的分布の予測と生物気候因子の分析	12	497,000
インドネシア	Rizka HASANAH	Universitas Palangka Raya	Genetic diversity of Borneo endemic proboscis monkey (*Nasalis larvatus*) in Sebangau National Park, Central Kalimantan, Indonesia: molecular assessment using D-loop mtDNA インドネシア、中央カリマンタンのセバンガウ国立公園におけるボルネオ固有のテングザル（*Nasalis larvatus*）の遺伝的多様性：D-loop mtDNA を用いた分子的評価	12	499,000
マレーシア	Nor Aifat A RAHMAN	Universiti Malaysia Sabah	Positional behaviour and habitat use of red leaf monkey, *Presbytis rubicunda*, in Tawau Hills Park, Tawau, Sabah マレーシア、サバ州のタワウヒルズパークにおけるクリイロリーフモンキー（*Presbytis rubicunda*）の運動・姿勢と生息地利用	24	531,000

別紙２

出身国	研究者名	所属先	研究課題（英文・仮和訳）	助成期間（月）	助成額（円）
マレーシア	Florina ANTHONY	Universiti Malaysia Sabah	Ecology and phylogenetic relationship of filmy ferns genus *Hymenophyllum* (Hymenophyllaceae) on central tropical mountains in Sabah マレーシア、サバ州の中央熱帯山地におけるコケシノブ属（コケシノブ科）の生態と系統関係	23	666,000
マレーシア	Lauretta Andrew LANENG	Universiti Malaysia Sabah	Diversity of terrestrial mammal and bird communities across altitudinal levels in Mount Kinabalu, Sabah, Malaysian Borneo マレーシア、ボルネオ島キナバル山における標高別の陸生哺乳類および鳥類コミュニティの多様性	24	999,000
マレーシア	Nurul Akmar HUSSIN	Universiti Malaysia Sabah	Genetic diversity of *Macrotermes gilvus* Hagen (Blattodea: Termitidae: Macrotermitinae) across different habitats in Sabah, Malaysia, using mitochondrial DNA Markers (COI) マレーシア、サバ州における真菌栽培性シロアリ *Macrotermes gilvus* Hagen（ゴキブリ目：シロアリ科：キノコシロアリ亜科）のミトコンドリア DNA マーカー（COI）を用いた遺伝的多様性	24	500,000
マレーシア	Mohd Zacaery KHALIK	Universiti Malaysia Sarawak	Diversity and niche selection of land snails at limestone outcrops in Niah National Park, Sarawak and their conservation importance マレーシア、サラワク州のニア国立公園（サラワク）において石灰岩の露頭箇所の陸生カタツムリの多様性とニッチ選択およびその保全重要性	24	880,000

出身国	研究者名	所属先	研究課題（英文・仮和訳）	助成期間（月）	助成額（円）
マレーシア	Farah Ayuni FARINORDIN	Universiti Teknologi MARA	Assessments of fish diversity, species composition, and population dynamics in Ceka River, Jerantut, Pahang, Malaysia マレーシア、パハン州ジェランツットのチェカ川における魚類の多様性、種構成、および個体群動態の評価	24	541,000
フィリピン	Richard Verrano DUMILAG	Sorsogon State University	An updated checklist of seaweeds in eastern Sorsogon, Philippines フィリピン、東ソルソゴンの海藻チェックリストの更新	12	802,000
スリランカ	Thambiliya Godage Tharaka KUSUMINDA	University of Colombo	Resolving taxonomic uncertainties associated with two bat species *Kerivoula malpasi* and *Murina eileenae* in Sri Lanka and unveiling the country's hidden species diversity of bats in the genus *Murina* and *Kerivoula* スリランカにおけるコウモリ２種（*Kerivoula malpasi*、*Murina eileenae*）の分類学的不確実性の解決と *Murina* および *Kerivoula* 属の種多様性の解明	23	999,000
マレーシア	Lilian JOSE	Universiti Malaysia Sabah	Gut microbiome analysis for assessing dietary adaptation of the endangered long-tailed macaque across different forest types in Sandakan, Sabah マレーシア、サバ州サンダカンの異なる森林タイプにおける絶滅危惧種カニクイザルの食性適応の評価を目的とした腸内細菌叢の分析	24	999,000
ネパール	Ganga SHAH	Tribhuvan University	Occupancy of large carnivore, their interaction with herbivores, and human carnivore conflict in Shuklaphanta National Park, Nepal ネパールのシュクラファンタ国立公園における大型肉食動物の占有率、草食動物との相互影響、人間と肉食動物の対立	17	999,000

出身国	研究者名	所属先	研究課題（英文・仮和訳）	助成期間（月）	助成額（円）
ベトナム	Nguyen Ba THACH	Thuong Xuan Protection Forest Management Board	Status, distribution, and conservation of small carnivores in the Xuan Lien Nature Reserve and Thuong Xuan Protection Forest, Vietnam ベトナムのスアン・リエン自然保護区およびトゥオン・スアン保護林における小型肉食動物の現況、分布、保全	22	520,000

論文投稿費支援１件　助成額 €780

出身国	研究者名	所属先	出版物のタイトル（英文・仮和訳）	投稿先ジャーナル	助成額
マレーシア	Siti Munirah MAT YUNOH	Forest Research Institute Malaysia	Publishing a paper “*Thismia aliasii* (Thismiaceae), a new species from Terengganu, Peninsular Malaysia” マレーシア半島トレンガヌ州産の１新種 *Thismia aliasii* （ヒナノシャクジョウ科）	PhytoKeys	€780

別紙３．2024 年度 CGF 助成実績一覧

研究者名　上段：プロジェクトサイエンティスト（PS）
　　下段：プロジェクトコーディネーター（PC）

第１回：２件

国	研究者名	所属先	研究課題
フィリピン	Dr Ian Niel Bulor dela Cruz	Caraga State University	Biodiversity profiling of Staphyliniformia beetles (Insecta: Coleoptera) in the Eastern Mindanao Biodiversity Corridor (EMBC), Caraga Region, Philippines フィリピン、カラガ地方、ミンダナオ東部の生物多様性回廊（EMBC）における Staphyliniformia 甲虫（昆虫綱：甲虫目）の生物多様性プロファイリング
	大原　昌宏	北海道大学総合博物館　教授	
ベトナム	Dr Sang Van Vu	Vietnam National University	Effectivenes of environmental DNA in reconstructing phylogeography of freshwater fish species in Vietnam ベトナムにおける淡水魚種の系統地理を再構築するための環境 DNA の有効性
	源　利文	神戸大学大学院人間発達環境学研究科　教授	

別紙３

第２回：７件

国	研究者名	所属先	研究課題
インドネシア	Dr Fajar Sofyantoro	Universitas Gadjah Mada, Indonesia	Mapping the Genetic and Distribution of *Trimeresurus insularis* Across the Lesser Sunda Archipelago, Indonesia インドネシアの小スンダ列島における マムシ類（*Trimeresurus insularis*）の遺伝的構造と分布のマッピング
	小川　智久	東北大学大学院農学研究科　教授	
バングラデシュ	Mrs Intifa Alan Nabila		Assessing the effects of human activities on mangrove forest health in Bangladesh using BACI (before after-control-impact) approach BACI（事前-事後、実施-未実施）手法を用いたバングラデシュのマングローブ林の健全性に対する人間活動の影響評価
	露崎　史朗	北海道大学大学院環境科学院　教授	
バングラデシュ	Mrs Nilufa Akhtar	Bangladesh University of Professionals	Effects of disturbances on phenology and species diversity in mangrove forests of Bangladesh バングラデシュのマングローブ林において攪乱が生物季節学と種の多様性に及ぼす影響
	露崎　史朗	北海道大学大学院環境科学院　教授	
インドネシア	Mrs Gratia Dolores Manuputty	北海道大学	Ecology and Distribution of Holothuroidea at Coastal Ecosystem in Maluku マルク諸島の沿岸生態系におけるナマコ類（Holothuroidea）の生態と分布」
	荒木　仁志	北海道大学農学部　教授	
タイ	Ms Rattima Wanroon	高知大学	Variations in Water and Nitrogen Acquisition Strategies of Deciduous and Evergreen Trees in Warm Temperate and Dry Tropical Forests 温暖な温帯林および乾燥した熱帯林における落葉樹と常緑樹の水分および窒素獲得戦略の変異
	鈴木　保志	高知大学教育研究部　教授	
タイ	Mr Siratee Riewluang	北海道大学	Biodiversity of symbiotic microalgae associated with meiofaunal marine acoels in Thailand タイに生息する海洋間隙動物（アコール類）と共生する微細藻類の生物多様性
	ケビン・ウェイクマン	北海道大学理学部	

ミャンマー	Ms Su Myat Hnin	愛媛大学	Response of *Sasamorpha borealis* (Suzutake) to environmental stresses: a heterogeneous soil nitrogen availability and an elevated air temperature 環境ストレスに対するスズタケ（*Sasamorpha borealis*）の応答：不均一な土壌窒素供給と高温環境の影響
	鈴木　保志	高知大学教育研究部　教授	

別紙 7．2024 年度長尾湿地基金助成プロジェクト一覧

国	研究者・研究機関	課題
タジキスタン	PO Youth Group on Protection of Environment	Preserving Tajikistan's wetland ecosystems: Advocating for recognition and sustainable management タジキスタンの湿地生態系の保全：認識と持続可能な管理の推進
ベトナム	Central Institute for Natural Resources and Environmental Studies (CRES), Vietnam National Univesity, Hanoi	Develop a method for utilizing remote sensing and GIS technology to manage wetland ecosystems - a study case in the Melaleuca forest ecosystem in U Minh Thuong Ramsar, Mekong Delta, Vietnam リモートセンシングと GIS 技術を利用した湿地生態系を管理手法の開発 - ベトナム、メコンデルタのウミン・トゥオン・ラムサール湿地のメラレウカ森林生態系の事例研究

別紙 7